エイディスの日記

ついに降参し、ウリンに“ムズンドの顔”を取り戻す手伝いをすると言ってしまった。ずっと彼の心配の種となっている品だ。たかがドワーフの兜になぜそまで執着するのか、こちらには知る由もないが、いずれにせよ彼には恩義がある。

歯車を渡り終えたところで、私たちはひと息入れるために足を止めた。驚くべき所だが、見たところ何の役にも立ちそうにない所だとしか言えない。なぜドワーフたちは良質な金属をこれほど無駄に使って、歯車だの、配管だの、構造物だのを作ろうとするのか。私には皆目見当も付かない。歯車の上でぐるぐる回っている最中に、金属製のクモを数匹退治しなくてはならなかった。あまりに目が回って、危うく墜落するところだった。

エイディスの日記

FormId	dragonborn.esm:03B53E
Owning plugin	dragonborn.esm
Local FormId	03B53E
Editor ID	DLC2dunFahlbtharzJournal02
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	25
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.